

Technical Support  
Knowledge Center Open

# E3631AでRS232C通信ができないのはなぜ？

# Notices

© Keysight Technologies Incorporated, 2002-2020

1400 Fountaingrove Pkwy., Santa Rosa, CA 95403-1738, United States All rights reserved.

No part of this documentation may be reproduced in any form or by any means (including electronic storage and retrieval or translation into a foreign language) without prior agreement and written consent from Keysight Technologies, Inc. as governed by United States and international copyright laws.

## Restricted Rights Legend

If software is for use in the performance of a U.S. Government prime contract or subcontract, Software is delivered and licensed as "Commercial computer software" as defined in DFAR 252.227-7014 (June 1995), or as a "commercial item" as defined in FAR 2.101(a) or as "Restricted computer software" as defined in FAR 52.227-19 (June 1987) or any equivalent agency regulation or contract clause.

Use, duplication or disclosure of Software is subject to Keysight Technologies' standard commercial license terms, and non-DOD Departments and Agencies of the U.S. Government will receive no greater than Restricted Rights as defined in FAR 52.227-19(c)(1-2) (June 1987). U.S. Government users will receive no greater than Limited Rights as defined in FAR 52.227-14 (June 1987) or DFAR 252.227-7015 (b)(2) (November 1995), as applicable in any technical data.

**Portions of this software are licensed by third parties including open source terms and conditions.**

**For detail information on third party licenses, see [Notice](#).**

## Contents

E3631AでRS232C通信ができないのはなぜ？

お手数ですが、以下の4つのステップで設定を試みていただけますでしょうか。

**【STEP0：ソフトの確認】**

BASICやVB、C等のプログラミングソフトまたは弊社製品Veeなどのソフトをお使いの場合は、御使用のPCへのI/Oライブラリ（ドライバ）のインストールが必要となります。I/Oライブラリは、弊社の GPIBカードに付属しております。また、お手元がない場合は、弊社より直接ご購入いただく事も可能です。

**【STEP1：ケーブルの確認】**

RS232ケーブルはクロスケーブルを御使用下さい。もしお持ちでなければ、RS232-61601をご購入下さい。ピンサインはマニュアルのP55を参照下さい。

**【STEP2：設定の確認】**

次に測定器本体、ソフトウェアを同じ設定にしなければなりません。（できれば、PC本体（デバイス マネージャーより COMポートの設定）も同じにして下さい。）

リモートインターフェイスの設定を RS232 にする（測定器本体）

ボーレートの選択（全部）

パリティの選択（全部）

フロー制御の選択（全部）

ポートの選択（PCとソフトウェア）

以上の設定が同じことをご確認下さい。異なる場合は、変更下さいませ。測定器本体の設定変更につきましては、和文マニュアルをご参考下さいませ。

**【STEP3：通信不具合の切り分け】**

測定器本体とPC本体の通信をチェックするため、Windows付属のハイパーターミナルを使用します。ハイパーターミナルは、スタートメニューの[プログラム]-[アクセサリ]にあるかと思います。ハイパーターミナルでの通信の設定は、御使用のCOMに合わせて下さい。その選択したCOMのプロパティのポートの設定を以下のようにして下さい。（もちろんE3631A側のRS232C設定もボーレート9600、パリティなし/8データビットにして下さい）

ビット/秒(B):9600

データビット(D):8

パリティ(P):なし

ストップビット(S):2

フロー制御(F):なし

また、コマンドを送る前に、ハイパーターミナルの[ファイル]-[プロパティ]-[設定]のエミュレーション(E)を自動検出からANSIに変更して下さい。それからその[設定]の[ASCII設定]の中のASCII送信で、「行末に改行文字をつける」と「ローカルエコー」をCheckして下さい。

ハイパーターミナルでのRS232C通信のCheckをする場合のコマンドは、

SYST:REM

で、Enterを押して下さい。

通常に通信が確立できている場合は、以上のコマンドを送信すると測定器のフロントパネルに Rmt(Remote) のアナンシエータが点灯します。ハイパーターミナルを使えば、例えばPCと測定器を

使った測定で動作不良の場合、プログラムの不具合か通信（インターフェイスの不良等）の不具合か切り分ける事ができます。

以上の設定をご確認いただき、またハイパーターミナルからのリモートが確立できない場合は、電源の故障の可能性or御使用のPCに不具合があることがございます。御使用のPCを替えて、再度お試しください様、お願いいたします。また、PCを替える事ができない場合は、GPIB経由でのご運用をお勧め致します。

